

一般質問



雨水排水路と 農業用水路の問題点について



会派 きずな ● 奥村 幹郎 議員



増水時の荒川（2021年8月）

問 平成25年18号台風を教訓に増強された右岸に対して左岸は

答 右岸のその部分をコンクリートでかさ上げされており、その際左岸の高さにそろえる形で設計されていますので両岸の高低差はないことが確認されています。

問 荒川の拡張や更なる護岸の増強、浅瀬（河床の掘り下げ）等更なる要望状況は

答 地域の皆様の要望と現状を踏まえ、河川管理者の滋賀県へ粘り強く要望を続けております。

問 宅地開発における雨水排水について

答 都市計画法第33条に基づく技術水準と湖南市における開発に伴う雨水排水計画基準に基づき溢水等による被害がないよう指導し開発許可をしております。

問 農業用水路の越水による浸水対策について

答 野洲川土地改良区が管理する幹線水路であります。豪雨時などの対策といたしましては、大雨が予想される時には、水源である水口頭首工からの取水を閉鎖していただいておりますが、取水口から三雲地先までは延長が10kmと長く、その間の雨水の流入のため、満水に近い状態になることもあります。

三雲地先該当用水路には野洲川方向への排水路が数か所設けてあります。



喫緊の課題について



会派 きずな ● 大島 正秀 議員

※所属会派は6月定例会当時のものです。

問 東庁舎整備に伴う周辺への影響について

答 既存の東庁舎敷地内での増築・建替えを検討しており、より一層の防災力の向上や利便性の高いゾーニングを行うため3つのパターン案を作成し比較検討しております。①案目は、湖南中央消防署や社会福祉センターのある高台の敷地②案目は、給食センター跡地で職員駐車場として利用している敷地③案目は、東庁舎南側の来庁者駐車場として利用している敷地を検討しております。それぞれの案における既存施設への影響について①案目では、湖南中央消防署社会福祉センターが支障となり、②案と③案では、水防倉庫や公用車駐車場、屋外倉庫などが支障となる見込みです。

仮に①案目の候補地を採用する場合、湖南中央消防署や社会福祉センターの機能継続のための代替施設の確保が急務となつてきます。

問 乗り合い型タクシーの実証実験の結果を踏まえて今後の課題と方向性について

答 利用者の少ないバス路線をのりこなんとし、2年間、実証運行に取り組んできましたが、効率性や費用対効果の問題が浮き彫りとなり市内の地域公共交通全体に影響を及ぼす結果となった訳ですが、この2年間の実証運行で得た結果を踏まえ、本市の将来を見据えた、持続可能な地域交通を展開できるよう、引き続き取り組んで参ります。